
「オーシャンズ」感想

ミスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「オーシャンズ」感想

【Nコード】

N0543W

【作者名】

ミスター

【あらすじ】

2011年8月22日月曜日。

TBSで映画「オーシャンズ」が放送されました。

その感想文です。

「小説」とは言えないかも知れませんが、どうせ書くのだし、この場を借りたいと思います。

初めて僕はここまで考えさせてくれる映画に出会いました。

(前書き)

映画「オーシャンズ」を見た感想です。

1/3くらい名前を知らない生物が出てきました。
勉強不足です…。

今回は真面目に書いてます。

今後の地球の生態系や、生物とのかかわり方について深く考えさせられました。

「小説」とは言えないかも知れませんが、どうせ感想を書くのなら
ばと思い、この場を借りさせていただきますました。

先日放送された映画「オーシャンズ」。

最も印象に残ったのは漁の場面です。

網に掛かって死んだイルカやカメ。

さらにはヒレだけ取られて生きたまま捨てられるサメ。

イルカは人が好きなんですよ。

人は水中じゃ生きれないことを理解してるから水面を人を乗せて泳いでくれる。

それなのに人はイルカを殺す。

のんびり泳いでただけのカメも殺す。

ヒレを取られて泳げなくなったサメは只苦しみながら死ぬしかない
…。

それでも僕は酷いと言えなかった…。

自分自身も漁の恩恵を受けてるから。

銚で突かれて血を吹くクジラを見ても酷いとは言えなかった。

怒りを覚えたけれど、何も言えない。

止めるとも言えない。

見ていて苦しかった。

人は、いや、人だけじゃない、全ての生き物は互いに影響しあって
生きている。

食う食われるも影響の一つ。

しかし、人が与えた影響は大きすぎた。

大気を変え、気温を変え、水質を変え、森を変え…。

今や、昔のままの物は無いに等しい。

その中で、辛いとも言わず生き物は生きている。

仲間を殺されても、イルカは人が好きなまままでいてくれる。

サメはヒレを取られても、なおもがいて必死に生きようとする。

人も、生き物の必死な姿を見て何かに気づくべきだと思う。

一匹の魚を食べるとき、その裏の大きな犠牲に気付くべきだと思う。

漁を止めるとは言わない。

言えない。

しかし、せめて網に絡まったイルカやカメなどを見殺しにしないで欲しい。

そっと網から外してあげて欲しいのです。

例え手遅れだったとしても、優しく海に送ってあげて欲しいのです。

魚を食べるとき、もしかしたらその魚が入った網に絡まって死んでいったイルカがいるかもしれない。
それを意識してもらいたいです。

彼らが、人を好きでいられるために。

そして、僕ら自身のために。

種の多様性を、失ってはならないから…。

(後書き)

感想文というものに慣れていないので見苦しいところもあったかと思えます。

これ以上生態系に傷を付けてはならないと強く感じました。

種の多様性があるからこそ、僕たちも生きていけるのです。生物を守るため、僕らにもできることがあるかと思えます。

少しでも、環境や生物について考えていただければ幸いです。

是非、「オーシャンズ」見てみてください。

初めてこんなにも考えさせてくれる映画に出会いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0543w/>

「オーシャンズ」感想

2011年10月8日02時10分発行